

		5歳児												小学校1年生												小学校2年生~
共通の視点		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
①期待する子ども像		●第3次甲州市教育振興基本計画(R5~R9)基本理念 一人・自然・ふるさとを愛する甲州教育ー学校教育の基本目標「たくましく心豊かな人づくり」 ●それぞれの園・所、小学校の教育目標																								
		<p>架け橋期全期にわたり、共通理解をもって、重点的に育みたい子ども像</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p><b>言葉による伝え合い</b></p> <p>自分の考えや気持ちを伝え、相手の話を聴くことができる子</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p><b>道徳性・規範意識の芽生え</b></p> <p>自分のことも、他者のことも大切にできる思いやりのある子</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p><b>協同性</b></p> <p>共通の目的をもって話し合ったり、役割を分担したりして、実現に向けて力を発揮し、やり遂げる子</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p><b>健康な心と体</b></p> <p>目標をもち、さまざまな活動に挑戦して困難を乗り越えようとする子</p> </div> </div>																								
②遊び・学びのプロセス		<p>「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」</p> <p>幼児期の遊びを通じた発達と学び ◆遊びを通して、多様な仕方環境に関わり、思考を巡らし、想像力を発揮し、環境に様々な意味や関わり方を発見する。</p> <p>子ども主体の学び デジタル×リアル ◆学ぶことへの意識があり、授業を通して個別の学習活動や協働的な学習活動をし、学んでいく。</p> <p>幼児期の経験を生かす</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><b>気づき・発見</b> なんだろう・不思議だな 好奇心 すごい不思議・面白そう・やってみよう ねえねえ、これって… い・試したい(体験知の蓄え)</p> </div> <div style="width: 10%; text-align: center;"> <p>疑問 どうして?なぜだろう?</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p><b>活動意欲</b> こんなこともあるんじゃない? (体験知の生活や学習への応用)</p> <p><b>発見・思考の転換</b> あ、こういうことなんだね (自覚的な学びの芽生え)</p> <p><b>探究心</b> もっと知りたいな (自覚的な学びへの意欲)</p> </div> </div> <p>知覚的にとらえる(五感&lt;視覚・聴覚・触覚・味覚・臭覚&gt;を通して)      認知的にとらえる(比較する・関連付ける など)</p>																								
		③生活のプロセス		<p>自信:〇〇園のリーダーはわたしだ! 自律的な生活習慣を確立する時期</p> <p>あこがれ:小学生ってかっこいい! 学校生活への思いを明確化する時期</p> <p>期待:学校たのしみ! 自信をもって学校生活に臨む時期</p> <p>期待と不安: 学校に慣れる時期</p> <p>安心: 活動を始める時期</p> <p>挑戦: 楽しむ時期</p> <p>成長の自覚: 1年間を通じた成長の確認とこれからの成長への期待</p>																						
④園・所、小学校で展開される遊びや生活・学習構成等		5歳児のカリキュラム												1年生のカリキュラム												
		<p>〇明るく伸び伸び行動したり、進んで運動したりすることへの興味や意欲につながる遊びや生活</p> <p>〇身近な人と親しみ、工夫したり、協力したりして一緒に活動することを楽しめる遊びや生活</p> <p>〇身近な環境に親しみ、発見を楽しんだり、考えたりすることにつながる遊びや生活</p> <p>〇言葉に対する感覚を豊かにする遊びや生活</p> <p>〇生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しめる遊びや生活 等</p>												<p>◆スタートカリキュラム</p> <p>〇一人一人が安心感をもち、新しい人間関係を築けるようになる活動</p> <p>←幼児期の体験を取り上げる</p> <p>知ってる? } 子どもの経験を引き出す</p> <p>やったことある? }</p> <p>知ってるよ! }</p> <p>あのね } 丁寧に聞き取る</p> <p>〇生活科を中心とした総合的・関連的な指導による単元構成</p> <p>〇日常生活とつながる学習活動 等</p> <p>義務教育としての基礎的な資質・能力の育成</p>												
⑤指導上の配慮事項		<p>★学びの見取りは、子どもの「つぶやき」「プロセス(過程)」「関わり」「経験」を重視。</p> <p>★子どもの主体性を尊重する関わりを大切に。(「すぐに答えを出さずに見守る」「対話を重視する」「子どもを信じてすぐに介入しないで待つ」「子どもの思考を深める問いかけ」)</p>																								
		<p>先生の関わり・役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児にとっての学びの場となる環境を構成する。</li> <li>・環境の下で幼児と適切な関わりをする。(活動の理解者、共同作業者・共鳴する者、憧れを形成するモデル、遊びや課題解決の援助者)</li> <li>・幼児が遊びや生活の中で見通しや主体性をもって活動し、達成感を味わえるように支援する。</li> </ul>												<p>幼児期の遊びを通じた総合的な指導を意識しながら、子ども一人一人の個性(資質・能力)を見取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心を生み、成長・自立を支える。(一緒に活動を楽しむ、温かく見守る、子どもの目線で話を聞く)</li> <li>・幼児教育の内容や支援等を、小学校にも適宜取り入れる。</li> <li>・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善をする。</li> </ul>												
⑥子どもの交流		<p>★主体的な活動を生むための環境づくり→☆子どもが試行錯誤する時間を確保☆子どもの関心を起点とし、失敗や調整を繰り返せるような環境★写真や記録の「掲示」による学びを可視化</p>																								
		<p>環境の構成・環境づくり</p> <p>「安心」「気づき」「挑戦」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児が関わる環境(人、もの、出来事、時間、空間等)を教材とし、整備・構成する。</li> <li>・幼児の主体的な遊びを大切にしつつ、どのような成長を願うのかといった先生の意図を環境に込め構成する。</li> </ul>												<p>幼児教育現場における環境の工夫を取り入れ、指導の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で扱う学習教材だけでなく、子どもが関わる環境(掲示物、教材の置き場所)等も学びに影響する環境とし、教材観を広げ、環境づくりを行う。</li> </ul>												
⑦関係者の交流(保育者、教諭、管理職、行政等)		<p>・5歳児と1年生の交流会 ・5歳児と他学年との交流会 ・小学校の児童会行事への参加 等</p> <p>知ることで新たな視点を持ち、意識することで変化を生む~情報交換の場を大切に交流~</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育参観や授業参観(先生の関わり、環境構成、幼児・児童の育ちや発達等を学びあう)</li> <li>→「個別の情報交換」から「教育観・保育観の共有の場」への質の向上・意見交換の場と時間の確保</li> <li>・合同の研究会(甲州市幼児教育推進協議会&lt;年2回&gt;実務者会議&lt;年2回&gt; 共通の視点をもとにカリキュラム、環境、交流等について検討する)</li> <li>・要録による伝達 等</li> </ul>																								
⑧家庭や地域との連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの成長を共有し、肯定的に見守れるようにする。</li> <li>・保護者が安心感をもてるよう支援する。</li> <li>・社会全体で子どもの育ちや学びを支えるよう、関係者が連携し取組を進める。</li> <li>・生活のリズムを整え、基本的な生活習慣が身に付くよう連携して取り組む。 等</li> </ul>																								

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿の視点

- (1)健康な心と体
- (2)自立心
- (3)協同性
- (4)道徳性・規範意識の芽生え
- (5)社会生活との関わり
- (6)思考力の芽生え
- (7)自然との関わり・生命尊重
- (8)数量・図形、文字などへの関心・感覚
- (9)言葉による伝え合い
- (10)豊かな感性と表現

[https://www.mext.go.jp/content/1422303\\_08.pdf](https://www.mext.go.jp/content/1422303_08.pdf)

★「甲州市架け橋期のカリキュラム」を共有し、自園・所、自校のカリキュラムを見直し、改善し、実践につなげる。